



視点1 安全  
 視点 1-1 雨に強いまちづくりを進めます

### 1. 『湘南ふじさわ下水道ビジョン』での方針・目標

藤沢市ではおおむね5年に1回の雨(50mm/時間相当)に対する雨水対策整備を進めており、整備率は約67%に達しました。しかし、近年の都市化に伴う流出量の増大や局所的な集中豪雨の増加により、多くの浸水被害が発生しています。このため、公助(行政)+自助(市民)・共助(地域)の一体的・総合的な取組が重要になっています。

|                 |  |
|-----------------|--|
| 方針・目標<br>【長期目標】 | <b>重点地区における床上浸水被害の解消を図ります</b>  |
| 主な施策            | 1) 浸水被害発生地区における雨水管等の整備<br>2) ソフト・自助・共助による取組<br>3) 他事業との連携による治水安全度の向上<br>4) 雨水貯留浸透施設の設置促進 |

### 2. 第1期アクションプログラム(H23~H28)の評価

2地区の雨水幹線や貯留管整備を進め、1地区で実施済み、1地区で整備中となっています。また、計画降雨以上の豪雨の頻発により、重点地区以外での浸水も発生しています。このため、下水道整備のほか、ソフト・自助・共助による取組強化や、官民連携による浸水対策を推進しています。

|                  | 第1期アクションプログラムでの実施状況  | 評価指標                           |   |
|------------------|--|--------------------------------|---|
|                  |  | 活動指標                           | 効果指標  |
| 1) 雨水管等の整備       | 2地区で着手している(うち1地区は整備済み)<br>   | 浸水対策実施箇所<br>目標：3地区<br>実績：1地区   | 重点地区における床上浸水被害解消戸数<br>目標：約50戸(21%)<br>実績：34戸(14%) |
| 2) ソフト・自助・共助     | 内水浸水想定区域図の作成を進めている<br>   |                                |   |
| 3) 他事業との連携       | 浸水被害対策区域制度等、官民連携による浸水対策を推進<br>   | 雨水貯留浸透施設<br>目標：整備促進<br>実績：整備促進 | —   |
| 4) 雨水貯留浸透施設の設置促進 | 開発事業者等への雨水貯留浸透施設設置指導<br>   |                                | —   |
| 施策評価             | 目標3地区のうち2地区で着手しているが、引き続き対策検討が必要<br>開発事業者等への雨水貯留浸透施設設置指導を行うとともに、官民連携による浸水対策事業に取り組んでいる |                                |   |

用語：活動指標、共助、効果指標、公助、自助、床上浸水



### 3. 第2期アクションプログラム (H29～H34) の実施方針

近年の降雨状況の変化にも対応したより効率的・効果的な浸水対策を実施するために、『雨水管理総合計画』を策定します。これに基づき、重点地区以外での小規模な浸水被害へのきめ細かな雨水排水施設整備やソフト対策を強化し、治水安全度の向上を目指します。

**【主な事業内容のポイント】**

■ 既存ストックの活用やソフト対策の強化による、より効率的できめ細かな浸水対策の実施

- ・『雨水管理総合計画』に基づく、より効率的・効果的な浸水対策の実施 (①②③)
- ・ソフト対策の強化 (④⑤⑥⑦)

表1 「視点1-1. 雨に強いまちづくり」の主な事業内容

| 主な施策項目                 | 具体的な事業                      | 種別  | 事業実施時期 |    |    |    |    |    |
|------------------------|-----------------------------|-----|--------|----|----|----|----|----|
|                        |                             |     | 29     | 30 | 31 | 32 | 33 | 34 |
| 1) 浸水被害発生地区における雨水管等の整備 | ①雨水管理総合計画の策定・運用             | 新規  | →      |    |    |    |    |    |
|                        | ②重点地区における雨水管等の整備            | 継続  | →      |    |    |    |    |    |
|                        | ③その他の地区における浸水対策の実施          | 見直し | →      |    |    |    |    |    |
| 2) ソフト・自助・共助による取組      | ④浸水情報システムの確立                | 強化  | →      |    |    |    |    |    |
|                        | ⑤内水浸水想定区域図の作成・公表            | 強化  | →      |    |    |    |    |    |
|                        | ⑥出張講座等の実施                   | 強化  | →      |    |    |    |    |    |
|                        | ⑦止水板設置工事の助成制度の導入検討          | 継続  | →      |    |    |    |    |    |
| 3) 他事業との連携による治水安全度の向上  | ⑧浸水被害対策区域の指定、官民連携による浸水対策の実施 | 継続  | →      |    |    |    |    |    |
| 4) 雨水貯留浸透施設の設置促進       | ⑨雨水貯留浸透施設の設置促進              | 継続  | →      |    |    |    |    |    |

### 4. 第2期アクションプログラムの目標 (活動指標と効果指標)

主な施策・事業の実施状況及び実施効果については、次の活動指標・効果指標を基に、3年ごとに評価を行います。

表2 「視点1-1. 雨に強いまちづくり」の目標 (活動指標と効果指標)

| 施策項目                | 指標   |                                 | 第2期AP目標           |                   | 備考 (実績)              |
|---------------------|------|---------------------------------|-------------------|-------------------|----------------------|
|                     |      |                                 | 中間評価 (H31年度)      | 第2期AP (H34年度)     |                      |
| 浸水被害発生地区における雨水管等の整備 | 活動指標 | 浸水対策実施箇所                        | 1地区 (H29～31)      | — (H32～34)        | H28末<br>1地区          |
|                     | 効果指標 | 重点地区における床上浸水被害解消戸数 <sup>注</sup> | 約40戸(約17%) (H31末) | 約40戸(約17%) (H34末) | H28末34戸(14%)<br>※累計値 |

※活動指標の計算方法……浸水対策実施箇所=浸水対策を行う地区数

※効果指標の計算方法……床上浸水被害解消戸数=浸水対策施設の整備により床上浸水被害が解消する戸数 (第1期APからの累計値)

( )内の%=床上浸水解消戸数÷過去の床上浸水被害戸数×100 (累計値)

注) 内水による被害を対象とした対策戸数